

公立大学法人奈良県立医科大学中期目標に係る  
政策検討会議委員意見

(医師派遣システム等)

- ・医師派遣システムの導入にあたっては、医局の協力体制の確保に努められたい。
- ・医師派遣システムの運用においては、県の医師・看護師確保対策室との連携を図られたい。

(医師・看護師確保について)

- ・ならの医療を守り育てる条例の考え方を踏まえ、医師、看護師の就労継続に向け、ワークライフバランスの視点から働きやすい職場環境を整えることに努められたい。
- ・ドクターヘリ導入に向けた、救急医療専門医の確保・養成に努められたい。

(医療連携)

- ・地域医療連携のために患者情報カードの発行や活用の検討を通じて、薬の過剰投与の防止、適切な救急対応の実施の実現に向けて一次医療機関との薬剤情報・医療情報の共有化など連携を図られたい。
- ・奈良医大は中和における医療機関の中核としての位置づけを担っているため、今後、橿原市に限らず他エリアまで連携の拡大を検討されたい。

(まちづくり)

- ・まちづくりにおけるソフト面での取り組みとして、橿原市と連携して疾病予防と健康づくりをメインとした取り組みを進めること。

(研究・授業体制等)

- ・さまざまな分野におけるセンター設置を検討されているが、十分な人的、財政的措置を確保されるよう努められたい。
- ・奈良医大における研究成果の発信に努められたい。
- ・新たな医師の養成とともに現職医師の専門研修の機会の確保などスキルアップに努められたい。
- ・大学ということで研究分野に女性のライフスタイル等も考慮にいたった研究分野を取り入れることも検討されたい。
- ・教育カリキュラムや授業の仕方について、学生が授業の満足度を高められるよう教員の選定や能力向上等についても十分検討されたい。

(橿原市との連携等)

- ・地元の橿原市と協力体制の確立をされたい。

(その他)

- ・運営費交付金の算定のあり方等について他府県と比較検討しながら、適正な判断をされたい。